

平成29年〇月〇日

申請者会社名 _____
住 所 _____
所 属 _____
氏 名 _____
連絡先 TEL _____

事業計画書（記述例）

課題名 ○○○○に関する技術開発

課題名については、上記のように“**技術開発**”として下さい。

1. 事業の目的

今回の開発がどのような開発を意図したものなのかを記述してください。

すなわち、その開発はどのような**目的**で行うのか、どのような**意義**があるのか、開発の成果によってどのような**効果**をもたらすか、を記述してください。

また、新製品の開発が対象となるので、国内海外を問わず**既存の製品との違い(新規性)**を明確に記述して下さい。

目安として1ページ程度の記述にして下さい。

2. 事業の目標

事業の達成度を評価できるように、**定量的な目標値**を設定して下さい。

3. 事業内容

事業の内容を記述して下さい。箇条書きで項目を掲げ、その内容を記述して下さい。複数年にわたる場合には、年度ごとに分けて事業内を記述して下さい。

目安として1ページ以上の記述として下さい。

4. 事業の実施予定表

3項の事業内容に掲げた項目につき、どのようなスケジュールで進めていくのかを記入して下さい。
複数年にわたるものは各年度の内容を記入して下さい。

実施項目	平成29年度			
	1 / 4	2 / 4	3 /	4 / 4
(表現の例)				
〇〇の計画	←→			
〇〇の試作		←→		
〇〇の実験			←→	
評価				←→
報告書作成				←→

5. 期待される効果

- 1) 技術的効果
- 2) 経済的効果

期待される効果を技術的な面と経済的な面から PR すべく記入して下さい。
“事業の目的”における記述や次項の記述と内容的に重複しても結構です。

6. その他

- 1) 必要性
- 2) 効率性・緊急度
- 3) 成果の有効性
- 4) 開発の新規性

今回の開発の意義を上記の4つの視点から PR すべく簡潔に記述して下さい。
“事業の目的”における記述や前項の記述と重複しても結構です。

7. 開発期間

平成29年4月～平成〇〇年3月

8. 開発費概算

目	目の細分	金額(千円)	算出根拠
技術開発費	設計費	4,000	全体計画 40千円×40人・日=1,600千円 詳細設計 40千円×60人・日=2,400千円
	試作費	8,000	試作用の物件費 4,000千円 試作用の加工費 40千円×100人・日=4,000千円
	試験工費	3,200	〇〇の試験 40千円×80人・日=3,200千円
	合計	15,200	

上記は一例を示します。

本例に準じた費用の内訳を提示して下さい。

工数による計上の場合、全て単価を40千円/人/日とします。

費用の計上に際しては、3項の事業内容と関連づけて、事業内容のどの項目にどれだけの費用がかかるのかが分かるように区分けして下さい。

9. 開発の体制

1) 主体

応募された企業となります。

2) 協力者

共同で行う企業、研究機関、大学、等があれば記述して下さい。

3) 指導者

指導を依頼する方がある場合に記述して下さい。

10. 製品化への取り組み予定

本開発終了後に、どのようなスケジュールで、どの程度の販売(数量及び金額)を目指しているのかを記述して下さい。

販売開始に至る前に、実船搭載による実証試験等を予定している場合には、そのスケジュールも含めて記述して下さい。